

生活者・企業・行政のより良い関係構築へ

一般社団法人日本ヒープ協議会
代表理事

梶原 織梨江



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

当協議会は、企業の消費者関連部門等で働く女性が、生活者と企業の双方を理解し、新しい価値を創造・提案することで、生活者の利益及び企業の健全な発展に寄与することを使命とし活動しています。

当協議会の会員は、月例研究会や分科会活動等を通じて広い視野・高い視座を学ぶとともに、異業種ネットワークを活かして他社事例や社会動向等の情報収集と提言活動に取り組んでいます。最近では、カードゲームを通じてSDGsを自分事として考える勉強会や、SNSを活用した生活情報の効果的な発信を研究・実践する等、新しい取組にも積極的にチャレンジしています。

また、企業間だけでなく関連省庁との連携も強化しており、消費者庁では消費者志向経営推進組織や消費者教育推進会議、内閣府では男女共同参画推進連携会議等において、生活者視点と経営視点を合わせ持つ事業者団体として積極的に提言しています。昨年は徳島で開催されたG20消費者政策国際会合にも参加させていただき、グローバルな視点で今

後の活動に向けた知見を広げることができました。

今年度は、「三位一体のデザイン型共創社会にむけたアクション—ヒープ視点の実践ー」をテーマに、生活者・企業・行政と連携をとりながら、積極的に発信していくことを目指し活動しています。その一つとして、福岡（12月）と大阪（1月）において、内閣府、男女共同参画推進連携会議とリレーションポジウム「男女共同参画社会の共創—生活者・企業・行政で創る九州／関西の未来ー」を共催しています。“地域”や“世代”をキーワードに、多様な事例や現場の声を取り入れながら、新しい価値を生む働き方を考え、1月29日には東京での報告会も実施予定です。

このような活動を積極的に展開できるのも、ひとえに皆様のご理解とご支援の賜物と心から感謝いたします。これからもヒープの強みを活かし、生活者・企業・行政のより良い関係構築に向けた活動に努め、邁進してまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

ヒーブ視点を持って新しい価値を創造・提案

一般社団法人日本ヒーブ協議会

関西支部 支部長

松島 知子



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は日本ヒーブ協議会に格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当協議会は、企業の消費者関連部門などに働く女性が生活者と企業の双方を理解し、より良い仕事をするため、その能力向上を目的に1978年に設立されました。関西支部はその5年後に設立され、関西を中心に活動を行っています。

関西支部は、規模としては大きな組織ではございませんが、会員同士の連携が非常に素晴らしい、毎月実施しています月例研究会の企画立案から報告書作成まで、会員全員が運営に参画しています。それにより、企画・遂行力、組織運営力、課題解決力などを身につけるとともに、ヒーブの強みである業態・職種を超えたネットワークを活用し、会員一人ひとりのレベルアップ・キャリアアップに取り組んでいます。

会員自らが企画した講演会や企業見学会において、多様な企業事例を学び、消費者志向経営や持続可能な社会の実現に向けた課題を

考える機会を創出しています。

今年度は、「三位一体のデザイン型共創社会にむけたアクションヒーブ視点の実践ー」をテーマに活動を行ってまいりましたが、その集大成とすべく1月17日（金）には、内閣府、男女共同参画推進連携会議とともに「リレーションシップ 男女共同参画社会の共創ー生活者・企業・行政で創る関西の未来ー」を開催いたします。“地域”や“世代”をキーワードに、生活者・企業・行政など多様な立場からの生の声を取り入れながら、新しい価値を生む働き方を会場一体となって考えていきたいと思っています。まもなく申込締切りとなりますので、ご興味のある方は是非当協議会ホームページをご覧ください。

これらの活動は、ひとえに皆さまのご理解とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今後も、常にヒーブ視点を持って新しい価値を創造・提案し、生活者の利益と企業の健全な発展に寄与し、社会に貢献すべく活動してまいります。本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。